



1月 ほけんだより

虹のこころ保育園



お正月休みが終わり、徐々に日常が戻って来た今日この頃。
お正月休み中のリズムを引きずってしまい、生活リズムが崩れやすくなる時期でもあります。早寝早起き、朝食を食べる、湯船につかるなどで健康的な生活を改めて見直していきましょう！

おねがい

この季節は、感染症が流行する時期です。下記の内容にご協力をお願い致します。

- ・感染症に罹患した際は、園内での感染拡大を防ぐために保育園にご連絡下さい。
- ・体調の変化やお子様の様子がいつもと違う時は、登園の際に職員にお伝え下さい。
- ・前日に発熱、嘔吐、下痢の症状がある場合、入園のしおりにあります『保育園登園基準とお迎え基準』を参考にして下さい。
- ・熱性痙攣、喘息、アレルギー症状等を発症した場合は必ず保育園にご連絡下さい。

1月のほけん行事

- 6日 頭髪検査
- 14日 身体測定 ひまわり組・ゆり組
- 15日 身体測定 ちゅうりっぷ組
- 20日 頭髪検査
- 22日 身体測定 あじさい組・よつば組
- 23日 身体測定 すみれ組



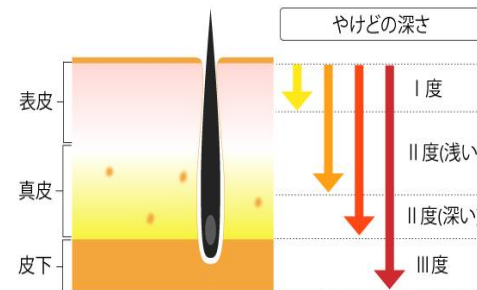
やけどに注意



寒いときは暖房器具の使用や鍋料理と、子どもたちが熱いものに接する機会が多くなりやけどに注意が必要です。

やけどの重症度

- 1度 皮膚が赤くなり、ひりひりとする
- 2度 水疱ができ、強く痛む
- 3度 皮膚は蒼白または灰黒色であまり痛くない



火傷の原因

- ① 味噌汁、お茶、カップ麺などの食べ物
→手の届くところに置かない、テーブルクロスの上に置かない
- ② 電子ケトル、ポット、炊飯器などの台所家電
→手の届く高さに置かない キッチンに入れないようにする
- ③ 暖房器具、加湿器
→近くに行けないように工夫する
- ④ ヘアアイロン、アイロン
→手の届くところに置かない



やけどをした時の応急処置

- ・すぐに流水で冷やす(やけどの進行を止めたり、痛みを和らげたり、細菌の感染を防ぐため)
- ・水道水で、やけどをした部分を痛みが感じなくなるまで、最低でも5分以上は冷やす
- ・水疱ができている時は、流水の水圧でつぶれないように注意する
- ・やけど部分に衣類がある場合は、無理に脱がさず、服を着たまま上から流水をかけて冷やす(無理に脱がすと、皮膚がはがれ、やけどがより悪化する)
- ・冷却中に震えが起こったときは、低体温になる危険性があるため、滅菌されたガーゼや清潔なタオルやラップなどでくるみ、保温しながら早急に病院に行く
- ・冷やした後は細菌感染を防ぐため、滅菌ガーゼや清潔な布で軽く覆い、水疱は破らない
- ・子どもの熱傷は見た目よりも重いことが多いため、応急処置後は病院を受診する

※火傷をした場合、症状に個人差がありますので、受傷後に登園する際はご相談ください。